

OFIX 研修生と交流 安藤忠雄建築研究所を訪問 アジアの若者にエール

大阪府国際交流財団（OFIX）が実施している「大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業」の研修生 8 人が 14 日、大阪市北区にある安藤忠雄建築研究所を訪問した。

同事業は建築や芸術を専攻している海外の若者を研修生として招待、日本の建築・芸術を学んでもらうことを目的に 1993 年度から毎年実施している。

今回はインド、インドネシア、タイ、中国、ネパール、バングラデシュ、フィリピン、ベトナムの 8 カ国の若者が 9 月 23 日から 10 月 20 日までの間、大林組、銭高組、竹中工務店、大和ハウス工業、大阪府で研修を受けるほか、安藤氏が手掛けた近



OFIX の研修生と歓談する
安藤氏（右端）

つ飛鳥博物館や司馬遼太郎記念館、淡路夢舞台なども見学する。

8 人は所員の案内で所内を見学した後、安藤氏と対面。安藤氏は「いま日本やアジアではビジネスのための建築が増えている。建築家にとってはつらい時代だ。そんな時代の中で、自分の建築をいかに追求していくかが問われている。時代の波に負けないよう一生懸命本を読み、考えてほしい」とエールを送った。